

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	屋内での活動が中心となり、利用者の外出機会が減っている。また、それに至る個々の思いに寄り添ったアプローチが不足している。 *コロナ5類移行後においても法人の内規もあり、依然状況が改善していない。	コロナ禍以前のように、利用者の思いに沿った、また、地域との馴染みの関係の中で、外出支援が行える。	現状を踏まえたうえで、制限の緩和、支援の必要性を法人内で協議する。まずは、感染リスクの低いアプローチを検討、提案する。	12 か月
2	29	コロナ5類移行後も感染リスクの観点から、地域との関係性が途絶えている。	コロナ禍以前のように、行事への参加、ボランティア受け入れなど、地域との関わりが再構築できる。 来訪者の絶えない、明るいホーム作りを目指したい。	現状を踏まえたうえで、制限の緩和、支援の必要性を法人内で協議する。まずは、感染リスクの低いアプローチを検討、提案する。	12 か月
3	35	かねてより、一般的な防災マニュアルは整備しているが、形骸化しがちである。また、コロナ禍もあり、消防、近隣住民など地域と連携した訓練が行えていない。防災用品や備蓄食材の整備も不十分である。	来たるべき大地震に備えるべく、自然災害発生時における業務継続計画(BCP)を整備し、それに基づいた平素の備え、シミュレーションに努める。	引き続き、職員への啓発を行うとともに、ホームにおける防災上の問題点の洗い出し、対応の検討を継続する。地域や行政、併設老健施設との連携強化を図る。	12 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。